

松浦民報

2011年11月

発行 日本共産党松浦市委員会 電話・FAX 0956-75-1947

ブログ「ゆう子のひろば」http://pub.ne.jp/yukoya/

日本共産党松浦市委員会の見解を紹介します。



日本共産党松浦市議会議員

安江ゆう子の市議会だより

定例9月市議会にて日本共産党の安江ゆう子市議は、星鹿小学校耐震化工事問題や小中学校の統廃合問題、原発問題などについて一般質問をいたしました。

自然エネルギーの確保で 減原発から脱原発が望ましい

安江ゆう子議員の質問に市長が答弁

今だ収束のメドすらたない東京電力福島第1原子力発電所の事故。九電・玄海原発を間近にする松浦市民の不安は、ますます広がるばかりです。安江ゆう子市議は玄海原発の再稼働中止を求めて、原発からの徹底について質問しました。

市長は太陽光発電設置について今後、補助制度導入に

向けた本格的検討を始めていきたいと答えました。

なく、市民の安全・安心を確保するための説明会というところを考えている。再稼働をどうかは、地元が了解したからという問題ではなく、安全評価等の結果を明らかにして、関係機関、関係団体の協議を行うって、国の責任において判断すべきと認識している。

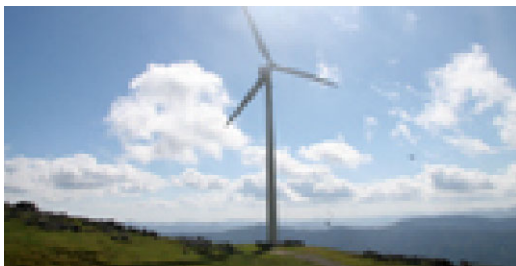
安江 松浦市民は、玄海原発2号機、3号機の再稼働中止を願っています。市長として九州電力に再稼働中止を求める考えはないか。

市長 再稼働を前提として説明会を求めたのもでは

安江 危険な原発から期限を決めて撤退し、原発に依存しない社会をめざす考えはないか。

市長 私は新たな原発は認めべきではないと考え、安江 松浦市の自然条件は太陽光、風力、小水力、バイオマスなどいろんな自然エネルギー、再生エネルギーの可能性がある。それ

エネルギーは地産地消 高知県橋原(ゆすはら)町



風車の売電益により、CO2の排出削減設備の普及とCO2吸収源の整備を図っています。



橋原川にあるわずか6mの落差を利用して、発電出力53kwの小水力発電を行っています。(橋原町のホームページより)

大震災支援活動 市民に報告を

3月11日の東日本大震災発生直後に松浦市は、迅速な支援行動を起こしました。これらの支援は被災地の復興の大きな力になったこととでしよう。派遣された職員みなさんに改めて敬意を表します。

3月11日の東日本大震災発生直後に松浦市は、迅速な支援行動を起こしました。これらの支援は被災地の復興の大きな力になったこととでしよう。派遣された職員みなさんに改めて敬意を表します。

市民にその活動と復旧・復興の現地の模様を、市民に生の声で報告する機会があったらどうでしょうか。

質問コーナー

問い 市議会の質問でなく、日本共産党の安江ゆう子と云うのですか。

答え 私・安江ゆう子は、日本共産党公認で選挙に立候補して当選しました。議員が議会で政党名をはっきりと云うことは、国会でも県議会でも当たり前のごとく、とても大事なことだと思っております。

日本共産党は、市民のご苦勞に心を寄せ、ごいっしょに解決していくことを、一番の使命として頑張る政党です。私もこのことを議員活動の柱にして頑張っています。